

県立口加、翔南高校2校への支援を お願いしたい

教育長／情報を共有し魅力ある学校づくりを支援していきたい。



黒岩 英雄 議員

県立口加高校と翔南高校について

議員 現在市内には、県立口加高校と翔南高校の2校がある。少子化により、長期的な生徒数の減少によって、学級数が減少していると聞いている。市内にあっては、地理的にも人口的にも、県立高校2校の存続が必要と思われるが、市として、今後どのような関わりを持つて対応されていけるのかお伺いしたい。

教育長 県立2校の存続に関して、大変心配をされていた。その件については、私どもも苦慮しているが、市長部局において、本市の第二期総合計画を策定中で、口加高校に新設されたグローバルコースと連携し、ワークショップ等の共同作業を通じ、市の将来を担う若者の意見を、計画に反映していく取組を進めている。また、教育委員会でも、日ごろから翔南高校と口加高校と連携して、子供を育てていくように努めている。具体的には、県立2校の高校の校長と、市内の中学校長、並びに教育委員会での情報交換会を開催し、情報を共有し、高校の魅力を発信する機会として

いる。今後も、魅力のある学校づくりを支援していきたいと考えている。

買い物弱者対策について

議員 高齢化社会が進む中、移動スパー車への補助金制度は考えられないのか。

市長 創業支援事業補助金を利用して、新たな移動販売の事業を始められる方に対しては、支援が可能と考えている。

※その他の質問
・防災、防火訓練について

7月の福岡、大分豪雨災害について

議員 市のボランティア活動はどうであったのか。WiFi、ドローンの利用は。

市長 特に被害の大きかった、福岡県朝倉市の皆様を支援するため、社会

翔南高校 総合学科

※総合学科…普通教育を主とする学科の「普通課」、専門教育を主とする学科の「専門学科」に並ぶものとして、導入された学科。幅広い科目の中から選択が可能で、生徒の個性を生かした主体的な学習を重視。

普通科 口加高校 グローバルコース

※グローバルコース…国際的な視野で考え、故郷を愛し故郷に貢献できる人材や、故郷から学び、故郷を理解し、国際的な貢献ができる人材育成を目指すコース。

今後の6次産業化の取り組みについて

市長／どのように進めていくか今後検討する。



田中 次廣 議員

地場産業の取り組みについて

議員 農・漁業の振興については、今取り組んでいる6次産業化を充実することで、更に地場産業の振興につながると思うが、現在の取り組み状況は。

市長 農林水産業の振興を図る施策の一つとして、市内で生産される農産物の加工施設や、機械導入など7件、水産関係で、ワカメの加工施設整備など3件を支援している。
議員 これまで、どのようなものが商品開発されたのか。

農林水産部長 ギンナン加工、ミカンのジュース、キュウリの漬物など。水産加工ではワカメの加工など。

議員 何か組織をつくらせて、開発、研究、販売等されているのか。

農林水産部長 農家の方々の取り組みに対して補助金を出している。水産関係はほとんどが法人である。

議員 他市の場合、市、農協、商工会等がネットワークを設立し、販路の拡大に力を注いでいる。このような取り組みを今後検討する考えは。

市長 6次産業化による農林水産業の振興をどのように進めていくか、今後検討する。

アートビレッジ・シラキ ノの整備状況について

議員 旧白木野小学校を芸術家と地域住民の交流拠点として整備に取り組んでいるが、進捗状況は。

教育長 現在、実施設計業務を発注している。11月に改修工事の入札、来

年3月に竣工予定。
議員 創造性豊かな地域づくりと観光客の増加を目指すため、どこまで計画、検討がなされているのか。

教育次長 ギャラリーを活用し、現代版画の作品展、北村西望先生の企画展などを行い、来て頂くようなことを考えている。

議員 この事業を継続的に展開し、また、地域の皆さんに、よろこんでいただく拠点になるよう努力して欲しい。

市長 地域の皆さんの中心となった学校を、そのまま放置してはいけないとの考えから、地域の振興になるようにしていく。



H26年に開催された北村西望生誕130年特別展